



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ

2020年

3月 第112号

THE Y'S MENDS CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENDS CLUBS



2019~2020年度主題

国際会長 Jennifer Jones(オーストラリア) “ Building today for a better tomorrow
「より良い明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長 田中博之(東京多摩みなみ) “ Action! ” 「アクション!」

東日本区理事 山田敏明(十勝) 「勇気ある変革、愛ある行動!」

あずさ部長 赤羽美栄子(松本) 「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために」

長野クラブ会長 森本俊子 「身近なつながりを大切にしよう」



今月の言葉

「まわりまわつて まわり道

まわりをみわたり 自分をみつめ まわり見たの おかげさま」

小林美彦ワイズ

3月例会

日時 2020年3月18日(水) 18:30pm~

レストランやま

司会 福島Ys

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 会長挨拶
4. 報告 相談
賛育会の支援コンサートについて
5. ロースターの原稿作成
6. 食事しながら
フリートーク
7. ニコニコ献金
8. 閉会点鐘 会長

事が起きると

森本俊子

新型コロナウイルスは、全く不気味です。顕微鏡でしか見えないのに、多分、日本中、そしていまや世界各地の人々が知っているのです。流行を抑えるために、みんなして、驚くほど神経質になっています。手をよく洗いましょう。どのように洗えばよいとか、マスクをどのように掛ければよい、マスクが足りない、などと大騒ぎしているのですが、そのこと自体は日常的な、今まで気にも留めなかったようなことです。

不安や恐怖がじわじわと迫ってくるのを感じながらも、はれた大空に向かって両手を広げてみました。なんと気持ちよくなったか。9年目を迎えた東日本大震災の日、被災地にでた虹がなんと美しかったことか。どれほど慰めになったか。

困ったことが起きると、誰かのせいにしてしまう気持ちがおきがちですが、コロナウイルスへの対応は恐れず淡々と手洗いに励み、復興支援の活動は堂々と手を出して、やっていきたいと思えます。

2月のデータ

在籍会員	9名
例会出席者	5名 (55%)
ゲスト	1名

例会のご案内

毎月第3水曜日 2020年3月18日(水)
18時30分

ところ レストランやま
連絡先 会長または書記へ
tokoton921@gmail.com (森本会長)
koba31819@icloud.com (小林書記)

会長	森本俊子
副会長	福島貴和
書記	小林美彦
会計	倉石美津子
プリン	堀内雅俊
担当主事	露木淳司

2月の例会報告

出席者 倉石美津子、小泉一真、小林美彦、堀内雅俊、森本俊子

ゲスト 松村隆さん（賛育会）

卓話は、台風19号の復旧復興活動で忙しい小泉一真ワイズが、最近市議員として活動していて疑問を感じたことの中から話を展開した。

覆面のまま市議に当選し議員活動もしているグレート無茶議員に、覆面を外してあいさつ回りを求めた市議会の対応について、問題提起の形で新聞記事などを提示して話を進めた。差別問題を考える機会として、タトゥーをどう受け止めるかとか、国連の障害者権利条約に基づくインクルーシブ教育を押し進めるべきという主張にもつなげて、覆面の議員に対する差別ととらえて意思表示したということだった。

とかく人は見た目で判断しやすいが、長野市議会の中では内容が大事だと、もっともな主張だった。（しかし、その後3月にかけて新型コロナウイルスの騒ぎで、マスク着用が必須とまでなってみると、議会内部の雰囲気は変わっているかもしれません）グローバル化により多文化が混入してくると、ますますこうした問題は起きてくる可能性があるが、自分たちのまわりを見回してみる必要があると思った。

ゲストの松村隆さんは、豊野の賛育会の事務長として台風被害の復興途中で転勤することになってしまったが、地域の被災者が抱えている問題を直に聞いていて、地縁、血縁に縛られて復興がむしろうまく進められない、過重負担になってしまう懸念などを話されました。公費解体による住宅の片付けの問題点も、私達外から見たものには気付かなかったことを課題として紹介されました。小泉さんが市政に反映させてくださると思います。（早速質問に取り入れてくださったとか）

TOF 例会だったので、食事は ホカホカ弁当の「のり弁当」にしました。おいしかったです。

2月例会の様子



賛育会復興支援コンサートのチラシができました。

YMCA たより

将来の栄光に備えるために必要な試練

露木淳司

2019 年度の締めくくりは新会館の竣工と新規事業のオープンという華々しい門出に向けて、夢いっぱいの中で幕を下ろすはずでした。ところが皆様ご存じの通り、今年の年度末は、新型コロナウイルスの話題で持ち切り。ついには全国一斉の学校休校という前代未聞の非常事態に陥りました。YMCA の事業も継続が危ぶまれ、非常勤スタッフの一部は仕事を失いかけています。休むべきだ、やるべきだと、スタッフの意見も保護者の反応も二分され、正に大混乱。進級、卒業に伴うイベントはことごとく中止。春休みの野外プログラムも壊滅状態です。YMCA の運営も東日本大震災の時以来の大ピンチですが、こんな時こそ私たちは今やるべきこと、寄り添う相手を見誤ることなく、落ち着いて自信をもって歩みを進めていくべきです。そしてぶれることなく、FOR ALL をモットーとする新会館をオープンさせ、明日の山梨を明るい地域共生社会に変えていくよう、全力を注がねばなりません。

本館の竣工は4月末、5月1日開業します。0,1,2才児のための「野の花保育園」、デイサービス「オリブの木」が新たにスタートします。

「現在の苦しみは、将来わたしたちに現わされるはずの栄光に比べると取るに足りない」（ローマの信徒への手紙 8-18 節）そう聖書が示すように、この苦しみは神様が私たちに必要なだけ与えてくれる試練なのだ、とポジティブに受け止め、しっかりと向き合っていきたいものです。2020 年度は甲府ワイズは 70 周年、甲府 21 は 30 周年の大きな節目の年です。そんな年を新会館で迎えられる、こんな幸せな偶然は他にあるでしょうか。これからも YMCA は皆様と共にあります。5月2日に献堂式、6月には定期総会、11月にはバザーとチャリティーラン、すべてが盛会に終わりますように心よりお祈り申し上げます。



これからの予定

- 3月7日 次期会長研修会(中止、コロナの関連)
- 3月18日 例会
- 5月9日 甲府クラブ 70 周年記念例会、
第3回評議会
- 5月15日 賛育会支援コンサート
(ホクト中ホール)
- 6月6日 第23回東日本区大会
(ホテル日航ノースランド帯広)

クラブ費の振り込みをお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。
今年度後期会費(1月~6月)18000 円のお振り込みをお願いします。(1年分は 36000 円です)
八十二銀行 昭和通営業部番号 214)
普通預金 □座番号 871118
長野ワイズメンズクラブ会計
倉石美津子